

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名        |    | 公表日 2026年3月12日   |      |         |   |   |
|-------------|----|--|------|---------|---|---|
| ハッピーテラス実習教室 |    |  |      |         |   |   |
| チェック項目      |    | はい   | いいえ  | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                                   |   |
| 環境・体制整備     | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 100% |         | 工作や運動に合わせて机や椅子の配置を調整しております。                 | 走るような運動ができないスペースとなっている。                       |
|             | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 100% |         | 人員配置は満たした状態で配置をしている。                        |   |
|             | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 89   | 11      | 入り口は狭いスペースとなっているため、必要以上の物は置かないよう配慮している。     | バリアフリー化をより強化していけるよう検討する必要がある。                 |
|             | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 100% |         | 毎日の清掃を実施している。                               |   |
|             | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 100% |         | 相談室を活用し、個々の相談に応じた相談室の活用をしている。               |   |
| 業務改善        | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 100% |         | 様々な職員が目標と振り返りの参加ができるようにしている。                |   |
|             | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 100% |         | 毎年保護者様向けに事業所へのアンケートを実施し、評価表を元に検討をしている。      |   |
|             | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 100% |         | 都度職員の意見や考えを聞く機会を設けている。                      |   |
|             | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |      | 100%    |   |   |
|             | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 100% |         | 地域の研修やハッピーテラス内での研修を実施し、学びの機会を作っている。         |   |
| 適切な支援       | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 100% |         | 毎年ホームページにて支援プログラムの公表を行っている。                 |   |
|             | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 100% |         | お子様や保護者様のニーズにあわせ、職員間で協議しながら個別支援計画書の作成をしている。 |   |
|             | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 100% |         | 管理者に限らず指導員や心理士の意見を元に支援の実施をしている。             |   |
|             | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 100% |         | 個別支援計画書の承認後、職員間で周知している。                     |   |
|             | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 100% |         |   |   |
|             | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 89%  | 11%     |   | 個別支援計画に関しては、記載のなかった項目については順次更新にて記載を行うものとしている。 |
|             | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 100% |         | 実施前には職員間で周知、検討をしている。                        |   |

|  |  |  |      |      |  |  |
|--|--|--|------|------|--|--|
| 援<br>の<br>提<br>供   | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 100% |      | 固定化がされないよう、数時間前は何を行ったのかを話し合いや記録を元に確認し、プログラムの検討をしている。         |  |
|  | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 100% |      | 個別での相談対応や就職に向けた個別ワークに取り組めるよう、個別支援計画書に明記しつつ個別活動や集団活動に取り組んでいる。 |  |
|  | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 100% |      | 支援前には職員間で打ち合わせを行い、個別対応にどの職員が対応するのか、また役割分担について協議している。         |  |
|  | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 100% |      | 支援後には必ず職員が集まり、その日の支援について振り返りを実施している。                         |  |
|  | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 100% |      | 毎日欠かさず支援記録を作成、必要に応じて支援の改善点について話し合いをしている。                     |  |
|  | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 100% |      |  |  |
|  | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 100% |      |  |  |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 100% |      | プログラムの中で自分の考えを反映することができるよう、選択できるような課題の提供を随時行っている。            |  |
|  | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 100% |      | 担当者会議には関係性の構築ができていない職員が参加をしている。                              |  |
|  | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 100% |      |  |  |
|  | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 100% |      | 学校との情報共有しながら、お迎えの時間や行事について連絡調整をしている。                         |  |
|  | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | -    | -    |  | 高学年の利用が多く、就学前の保育所や子ども園の連携について該当者なし。      |
|  | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 100% |      | 卒業生の保護者様に確認をし、保護者の意向によって必要な際には就職先に支援内容を共有できることを保護者様に説明している。  | 現在は保護者からの要望はなく、実施には至っていない。               |
|  | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 100% |      |  |  |
|  | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   |      | 100% |  | 利用されてるお子様の個人情報の観点から、地域のお子様の交流の機会を作っていない。 |
|  | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 100% |      | 研修等必要に応じて参加をしている。  |  |
|  | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 100% |      | お迎え時や適宜電話やメールを活用し、状況や取り組んだ課題について伝えるようにしている。                  |  |
| 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 |  | 100% |      | ペアレントトレーニングの実施はしておらず、個々の相談に応じて臨時での面談実施等行っている。                |  |
|  | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 100% |      | 契約時に説明をしている。   |  |
|  | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% |      | 面談前には、お子様にも気持ちや意向を聞き取ったり、保護者の意向を元に個別支援計画書の作成をしている。           |  |
|  | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 100% |      | 必ず個別支援計画書の内容を提示し、同意の上で支援を実施している。                             |  |

|          |  |  |      |  |  |   |
|----------|--|--|------|--|--|---|
| 保護者への説明等 | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 100% |  | 面談とは別に個々でお子様のご様子について悩み事や相談を受けた際には、面談や助言wの実施している。 |   |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |      | 100%   |  | 保護者会への実施に至っておらず、今後保護者様のニーズにあわせ、必要に応じて実施への検討をしていく。       |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 100% |  | 苦情への対応を徹底し、必ず対処方法を提案しながら迅速な対応を意識している。            |   |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 89%  | 11%  | HPやメール等でイベントや連絡等を行っている。                          |   |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 100% |  | 個人情報の書類について、鍵付きのキャビネットを活用し、保管をしている。              |   |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 100% |  | 意志の疎通がはかれるよう、言葉だけでなく文章を使って会話することや、ジェスチャー等活用している。 |   |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  |      | 100%   |  | 地域の方をご招待した取り組みは実施していないが、地域福祉事業所のお祭りに参加をする等地域行事に参加をしている。 |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 100% |  | マニュアルについて職員間で周知しつつ、保護者様へ周知している。また、訓練の実施をしている。    |   |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 100% |  | 毎年業務継続計画を策定し、必要な訓練の実施をしている。                      |   |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 100% |  | 面談を通して服薬やてんかん発作等状況確認を行っている。                      |   |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | -    | -  |  | 現在アレルギー対応必要な児童の在籍がないため、該当なし。                            |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 100% |  |  |   |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 100% |  | 安全計画について契約時や変更時には都度周知を徹底している。                    |   |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 100% |  | 支援後に振り返りを行なっている中で、ヒヤリハットの確認、再発防止について検討をしている。     |   |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 100% |  | 毎年職員全員が参加して虐待防止に向けた研修の実施をしている。                   |   |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100%   |      | 身体拘束を行う際には、必ず同意の上で個別支援計画書に記載をしながら、必要に応じて安全面に配慮した対応を心がけている。 |  |   |